

# 第42回 越馬徳治科学賞

～平成16年度受賞者・受賞校の業績～

平成16年度の越馬徳治科学賞の表彰式・助成金交付式は、平成17年2月8日(火)に石川県教育センターで、小倉周一郎副会長のご出席をいただき、業界や学校関係者参列のもと開催されました。受賞者、受賞校に賞状・助成金ならびに記念品などが授与されました。(本文中の勤務校や所属は平成16年度のものです。)

## 1. 個人表彰

### ○ 個人賞

**金沢市立小坂小学校 教諭 釣本 直行**  
金沢市立瓢箪町小学校(現明成小学校)を初任に、同犀川小学校、同野町小学校、金沢大学教育学部附属小学校を経て現在に至る。県理科教育研究大会での発表や公開授業は複数回、全国小学校理科研究大会でも研究授業を行い、実践的な研究を進めている。また、金沢市児童科学教室の指導員を20年以上にわたって務めている他、野町小学校在職中には石川県発明くふう展及び越馬徳治科学賞における学校賞に導くなど、児童の指導についても実績がある。

**金沢市立扇台小学校 教諭 宮崎 繁夫**  
小松市立月津小学校を初任に、金沢市立米丸小学校、同押野小学校、同四十万小学校、同三馬小学校を経て現在に至る。金沢市児童科学教室の指導員を20年以上にわたって務めるかたわら、各勤務校において児童対象の自由研究相談会やサマースクールも継続的に開催し、その指導により県や市のコンクール等における受賞者を多数出している。また、勤務校の理科的環境整備、実験素材等の開発に積極的に取り組むとともに、金沢市理科実技研修会の講師を長年務め、若手教師の育成にも貢献している。

**白山市立北星中学校 教諭 廣谷 良弘**  
野々市町立富陽小学校を初任に、同野々市中学校、同布水中学校等を経て現在に至る。発明考案品コンクールにおいて「運動の計測装置」の入賞をはじめ、越馬徳治科学教育研究奨励の発表や理科指導資料の執筆等の業績がある。近年は、パソコンを利用した授業や興味関心を高める教材・教具づくり等の研究・実践を行い、「理科における環境教育」の発表をした。また、理科教育に関する研究会の委員も長年にわたって務めている。

**金沢市立泉中学校 教諭 坂井 直澄**  
小松市立松陽中学校を初任に、金沢市立浅野川中学校、同西南部中学校等を経て現在に至る。「生物教材

の積極的活用」、「実験器具のパッケージ化と開放管理システム」、「パソコンを利用した学習指導研究」など数多くの研究実績がある。また、指導面では科学部の顧問として、岡文化賞、日本学生科学賞の受賞に導いたほか、昭和58年から平成15年までの赴任校5校で計8回の高峰賞学校賞及び越馬徳治科学賞学校表彰受賞に貢献した。その他、授業実践においても実績がある。

**七尾市立北嶺中学校 教諭 丹後 孝昭**  
富来町立富来中学校を初任に、七尾市立東部中学校を経て現在に至る。「たのしくわかる物理実験事典」、「水と空気の100不思議」、「理科がもっとおもしろくなる科学小話」など科学教育関係の書籍に多くの執筆実績がある。また、地区の研究発表会や学校の科学部で長年にわたって指導の実績があるほか、青少年のための科学の祭典では実験講師を務めるなど、科学教育の普及にも力を注いだ。

**石川県立小松高等学校 教諭 多井 伸明**  
加賀市立東和中学校を初任に、石川県立大聖寺高等学校、同金沢伏見高等学校、石川県教育センター指導主事を経て現在に至る。物理におけるコンピュータの活用を長年にわたって研究し、物理実験での利用(演示実験、実験結果処理、プレゼンテーション等)や、物理教材としての利用(アニメーション、動画等)に多くの研究実績がある。また、その成果を県理化教育研究大会や北信越理科教育研究大会等で発表した。

**小松市立高等学校 教諭 金山 晃**  
石川県立寺井高等学校を初任に、同小松工業高等学校、同小松明峰高等学校を経て現在に至る。水生昆虫と鳥類に関する多数の研究と、河川環境の調査研究を行い、日本生物教育会全国大会をはじめ数多くの研究大会で発表を行った。また、小松市科学研究所所員、小松市立博物館専門委員を務めたほか、梯川や木場潟、手取川等の淡水域の自然観察会などの講師として、指導面でも活躍している。

### ○ 功 勞 賞

**白山市立蕪城小学校 校長 廣瀬 修**  
松任市立松任中学校を初任に、同光野中学校、金沢教育事務所指導主事、同管理主事、尾口村立尾口中学校教頭、美川町立蝶屋小学校校長を経て現在に至る。植物に関するテーマでの石川郡・松任市奨励個人研究や尾口村の化石調査研究に継続して取り組み、地域住民を対象にした観察会において発表するなど、地域の理科教育に貢献した。また、県理科教育研究大会(石

川・松任大会)では、授業研究部長として小・中・高校の学習指導案の作成に携わった。平成13年度から石川郡学校教育研究協会理科部長を務めている。

鹿西町立鹿西中学校 校長 池島 憲雄

能登島町立能登島中学校を初任に、中島町立中島中学校教頭、鹿西町立能登部小学校校長等を経て現在に至る。その間、文部科学省の研究推進校として、理科教育の実践研究に成果を上げたほか、県理科教育研究大会の公開授業を行った。児童生徒の科学作品コンクールの指導にも熱心に取り組み、理科好きな児童生徒の育成に努め、長年にわたり、県科学教育振興会、理科教育研究協議会の理事を務めるなど、理科教育の振興に力を尽くした。平成15年度から第43回県理科教育研究大会(七尾・鹿島大会)の準備委員長として、準備を進めている。

## 2. 学校表彰

金沢市立犀川小学校 (校長 戸田 正登)

当校は、恵まれた自然を生かした理科環境づくりを推進している。地域の自然を知り、環境を考えることを目的に、教師・児童・PTA・地域が協力したビオトープづくり、カブトムシの飼育、シイタケの栽培、犀川の森の造成に取り組み、理科をはじめ生活科、総合的な学習の時間に活用している。特にビオトープについては、児童の取り組みが評価され、第2回全国ビオトープ・コンクール奨励賞を受賞したほか、ホテルや川エビ等のWeb発信を評価され、第1回全日本小学校ホームページ大賞石川県優秀校となった。その他、石川県発明くふう展や科学作品コンクールにも積極的に取り組み、多くの受賞者を出している。

金沢市立高岡中学校 (校長 角田 健治)

当校は「自然事象に関心を持ち、生徒が意欲的に学習する授業を目指して」をテーマに研究を進めており、昨年研究の成果を全国中学校理科大会で発表した。科学部の活動も活発に行い、県科学作品コンクールで県知事賞をはじめ多くの受賞者を出し、特に本年度は、日本学生科学賞において文部科学大臣賞受賞者を出している。また、生徒理科作品研究発表会などで毎年積極的に発表を行い、校内では定期的に研究発表会を開催し、生徒の研究に対する意識を高めている。

金沢大学教育学部附属高等学校 科学部 (校長 江森 一郎)

当校科学部は、総合的な理科部として、化学実験と教材製作を2本の柱として活動している。化学実験の分野では、コンピュータ活用、古代の電池、リズム反応、クロマトグラフィー、結晶等の多くの研究を行い石川地区中学高校生徒化学研究発表会で発表を行った。また、教材製作の分野では、コンピュータ自動制御の鉄道模型、噴霧式水ロケット、ロボット、浮き沈みする潜水艦模型、リニアモーター、赤外線リモコンの飛行船等の製作に取り組み、成果を上げている。

## 3. 学校助成

小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している学校への助成金交付。平成17年度の石川県理科教育研究大会会場校に交付されました。

金沢市立小坂小学校 (校長 石田 一明)

金沢市立北鳴中学校 (校長 坂 健一)

石川県立金沢桜丘高等学校 (校長 林 良征)

